

ヒヨケザル

空をわたる森のグライダー



ヒヨケザルは、東南アジアの森にすむ動物です。名前に『ザル』とつきますが、じつはサルの中まではありません。ヒヨケザルだけでつくる「ヒヨケザル目」というなかまで、世界に二しゅるのしかいません。目が大きく、夜の暗い森で、葉や花を食べてくらしします。昼の間は、木のみきにぴたりたりついたり、えだにぶら下がったりして、じっと休んでいます。

ヒヨケザルのいちばんの特ちょうは、体をぐるりと包む大きな『まく』です。首から手や足の先、しっぽの先まで、体のまわりがぜんぶ皮でつながっています。（ ）、指と指の間にもまくがあります。このまくは、動物の中でいちばん広いといわれ、広げるとまるでマントのようです。

このまくを広げて、ヒヨケザルは木から木へと、空を『すべる』ように飛びます。高い木の上からとびおると、まくが風をうけて、体をふわりと運びます。そのきよりは、なんと百メートルをこえることもあります。羽をはたかせるわけではないので、グライダーのように、あまり高さを下げずに、遠くの木まで飛んでいけるのです。

このまくは、飛ぶときだけでなく、赤ちゃんを守るのにも役立ちます。お母さんは、まくをハンモックのようにして、その中に赤ちゃんを包んで運びます。木から木へわたるときも、赤ちゃんはまくの中でしっかり守られているのです。サルではないけれど、空をわたり、まくで子どもを守る、それがヒヨケザルなのです。

せんたく(1)

まくについて、正しいものはどれですか？

選んで○をつけましょう。

① 足だけについている

② 飛ぶときにだけ使う

③ 動物の中でいちばん広い

せんたく(2)

文しょうの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

① さらに

② でも

③ なぜなら

きじゅつ(1)

ヒヨケザルは、何のように空をわたりますか？

きじゅつ(2)

お母さんは、赤ちゃんをどのように運びますか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) たいよう

(2) しあい

(3) みなと

こたえ

ヒヨケザル

せんたく

(1) ③
(2) ①

きじゅつ

(1) グライダー。

(2) まくに包^{つつ}んで運^{はこ}ぶ。

漢^{かん}字^じ

(1) 太陽^{たいよう}

(2) 試^し合^{あい}

(3) 港^{みなと}